

令和6年度 第2回
国府地域振興会議議事概要

日 時：令和6年5月29日（水）13時30分～14時30分

場 所：国府町総合支所 第1会議室

出席委員：岸本寛治、山崎豪太郎、山田準二、福田克彦、磯見義隆、森田わか子
木下敏明、矢芝好美、山本辰子、福田明

傍聴人：山本暁子

事務局：山川支所長、藪下副支所長兼地域振興課長、吉田産業建設課長
植村市民福祉課長、石原地域振興課長補佐

◎会議次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 報告事項
 - (1) 令和6年度地域おこし協力隊の紹介 …………… 資料1
 - (2) ねんりんピックはばたけ鳥取2024 …………… 資料2
 - (3) 災害時における避難所について …………… 資料3
- 4 協議事項
 - こくふ歴史観光まちづくりプラン（案）について …………… 資料4
- 5 その他
- 6 閉会

【議事概要】

3 報告事項

- (1) 資料1について説明。
- (2) 資料2、資料3について説明。

〔委員〕 資料3について、交流会館は今回指定されなかったということか。

〔事務局〕 どの施設にも言えることだが、不安を感じて避難してこられることがありその場合の受け入れ体制について協議を行っているところである。成器地区と大茅地区に安全な避難場所がないというところからこの話が出た。非難するためにはコミュニティセンターや中学校まで出てきてもらわないといけない。緊急的に避難できる場所が必要ではないかということとで協議をしており、支所としても避難所として指定してほしいという思

いはあるが、避難経路にリスクもあり、まだ調整しているという段階である。

〔委員〕 コミュニティセンターに避難した人が、「飲料水を持って来たか」と言われたとのことで、せめて水くらいは備蓄品を出してもらえないのか。

〔事務局〕 どこにでも備蓄品があるに越したことはないが、緊急的に避難する場合は自衛として最低限の飲料水や軽食は持参していただきたいというのが行政の見解である。

住民の気持ちは分かるので、どの避難所でも統一した対応ができるか、備蓄の状況も勘案しながら検討しなければいけないかもしれない。

〔委員〕 飲料水等を持参して避難するよう放送していたと記憶しているが、平日頃から我々が準備しておくことと、行政は住民に周知しておくことが必要ではないか。

〔事務局〕 周知は継続して行いたい。

〔委員〕 各避難所に何が備蓄してあるのか、わかるようにしておいたらどうか。

〔事務局〕 何らかの方法でできるように検討させてもらいたい。

〔委員〕 ねりんピックは、国府で実行委員会が立ち上がるのか。国府の住民が参画しないといけないことがあるのか。

〔事務局〕 おもてなしブースのふるまいスペースで 500 円程度の何か提供することを検討している。ふるまいスペースは支所の職員とお願いする団体とで調整することになると思われる。

〔委員〕 ねりんピックについては国府でこんなことがされると誰も知らないと思う。せっかくなのでたくさんの人に見に来てもらいたいし、周知はされるのか。

〔事務局〕 新聞や市報などで周知はされるし、放送もすることになる。

〔委員〕 地域おこし協力隊について、児童指導員の資格を持っておられるが、兎っ兎の中で指導をされる予定か。

〔協力隊〕 これまでの経験から資格を持っているが、今後実際に指導員としての活動をするかどうかは未定である。

4 協議事項

資料4について説明

〔事務局〕 第1回目の地域振興会議から5月20日までと期限を区切ってご意見を改めていただいた。いただいた意見を抜粋して資料4-2にまとめてみた。それぞれの意見をプランに反映させたもの、プランにこう記述することで読み取っていただけないかというような形で赤字で記載した。資料4-2の番号と本編にある番号が対となっている。

例えば、4-2の①、国道、市内幹線道路へ国府史跡案内板の設置とあるが

それは本編の P.6 で新時代の情報発信の項目で普通の案内板ではなく、PR 用デジタル案内板の設置みたいなものを推進してはどうかというように書かせていただいた。

また、資料 4-2 の⑥、窓口発信拠点として万葉歴史館を位置づけられないかというご意見をいただいたが、これについては文化財団の意向等もあり、このプランの中でしますとは言いつらいところがある。そのため、P.7 中段あたりで、観光客の受け入れ窓口の核となる新たな組織体や運営団体の構築を進めると記述することで読めないかと考えている。

資料 4-2 の⑩地域おこし協力隊に観光コーディネーターになってもらえないかという意見については、任期のこともあるため P.9 観光のエグゼクティブプロデューサーの任命、一番下の観光協会、ガイドクラブ、文化協会など団体に地域おこし協力隊も追記し、団体や個人間の連携を促進するという記述により、こう読めませんかと赤字で考え方を示している。

資料 4-2⑫について、あえて主語を書かない書き方にしているが本当に主語がなくもいいのかとご意見をいただいた。市としては、誰がプレーヤーかは、あえてぼかして書かせていただいているが、言うなら「国府地域では」というような枕詞をつけて、それぞれ読んでいただいたらいいと考えている。そのため P.5 でこのプランの五つの柱を説明するところで、「国府地域で」と追加したので、国府地域での取り組みと読んでいただけるといいかと考える。

〔委員〕 全部拾ってもらったのでありがたい。

〔事務局〕 極力いただいた意見は反映させた。その他の委員からは概ね内容についてはいいとご意見をいただいた。

再再度持ち帰っていただき、何かあったら意見をいただきたい。6月いっぱいくらいまでとし、特に何もなければ微調整を加えたうえで、ほぼこの形で提案ということにさせてもらいたい。

〔委員〕 五つの柱のまとめについては、とてもいいと思う。

一番心配するのはこのプランを振興会議で作って提出して満足して、これでもう終わりと絵に描いた餅に終わってしまうような気がする。また、役所的な言いまわし、逃げの言いまわしとなっている。主語がないので誰もせず終わり、本課におろしていく担保もないため、せめて市が取り組む項目、民間事業者が取り組む項目と区分けがあったほうがいいと思う。

〔事務局〕 市が取り組むことがほとんどだが、当然、地域の方々と連携しながら取り組むことも大事だと考える。プランを作って終わりではなく、これをベースに今後は地域未来プランへ引継ぎ、進捗管理をしていくことになる。予算との兼ね合いもあり、できることとできないことがあるが、ここに書いてあることについて何とか実現に向けて動きたいと考えている。

〔委員〕 安心した。

〔委員〕 小学校のところに大きな柱を建てている。建てるだけでなく広げていってほしい。先生方も地域の人も誇りを持ってほしいし、どんどん広げていってほしい。せっかく作ったものが活用されていないのが残念だ。
また、プランの中に田んぼや空き家のことが盛り込まれているのがよかった。

〔委員〕 小学校が地域の文化について勉強の中にどれくらい取り入れているのか調べてみたところ、私達の子供の頃よりも、今の方が歴史について取り組んでいるようだし、地域との連携もしているようだ。
中学校になると少なくなっていたけれども、小学校ではかなり地域のことを授業に取り入れてくださっていると感じた。

〔委員〕 国府東小学校でも出前事業はしていた。ガイドクラブや文化協会との繋がりは作るので、今後、具体的な話が出てきたら人は出せるという話はした。

〔委員〕 思いのある人はいるので、手伝ってもらえないかと言ったら皆喜んで動くと思う。

〔事務局〕 ありがとうございます。皆が喜ぶような取り組みがしたい。
ひと月後くらいまでにまたご意見があればいただきたい。

〔委員〕 このプランは、こうするという方針、進捗管理というのはできるのか？

〔事務局〕 今後は地域未来プランに引き継ぐことになる。

実施に向けた取り組みについては、実施計画のようなものを取りまとめた上で、進捗管理をしようと思う。予算や人の問題もあるため、簡単に実施できるわけではないが、ある程度進捗管理することは大事と思う。

プランの内容は全部実施しようと思ったらできると思って書いている。何とか実現できるようにやっていきたいと思っている。

できれば7月に市長に報告できたらいいかと考えているので、会長さんと相談して進めようと思う。

5 その他

〔会長〕 災害復旧工事はどうなっているか。

〔事務局〕 大きな工事のため予算を組み進めている。担当者も地元に出て現場を確認したり、県と調整したりして進めている。

〔委員〕 夏になったら雨滝に上がりたいと思う人が多い。

〔事務局〕 雨滝は2年はかかると聞いている。その間、ただ閉鎖するだけというわけにもいかないなので、閉鎖期間中も手前の滝の傘をうまく使い何かできないかと考えている。

〔委員〕 自分の力は微力だけど、できることはしたいと考えている。

6 閉会